

ふくおか 福祉だより



新年のご挨拶



福岡学区福祉委員会

体に注意し無理なく行事を運営

福岡学区総代会 会長 大河内 廣之

福祉委員会の皆様、いつも学区の小学生見守り・交通安全・敬老者の皆様のお茶のみ会など数々の学区の行事を主催、そして参加していただきありがとうございます。学区総代会も大変助かります。学区の人口の4割が60才以上です。皆様が中心になり学区の行事に参加していただけるよう総代会も広報して行きたいと思えます。皆様が体に注意して無理なく行事を運営してください。



令和6年度学区福祉委員会の研修会

11月29日【金】瀬戸市にある「瀬戸蔵ミュージアム」へ参加者17名でバス1台をチャーターして訪問しました。また帰途では「愛・地球博記念公園」に立ち寄りしました。



研修先施設(瀬戸蔵ミュージアム)の概要

瀬戸の観光拠点施設「瀬戸蔵」の2階～3階のフロアに入るやきものの博物館として平成17年に開館した。2階には、昭和30～40年代の瀬戸の町が広がり、昔の尾張瀬戸駅や当時走っていた電車、石炭窯、煙突、やきもの工場など町並みを歩きながら瀬戸のやきものづくりが体感できる。

3階では、1000年以上の歴史がある瀬戸焼の歴史を紹介している。

愛・地球博記念公園 愛称「モリコロパーク」の概要

2005年に開催された日本国際博覧会の開催を記念し、博覧会の感動を呼び起こすとともにその理念と成果を引き継ぐ公園として整備がすすめられた。



「福岡小っ子登下校見守り隊」がスタート

地域の子どもは地域で守ることをモットーに昨年の12月20日に福岡小学校において「福岡小っ子登下校見守り隊(以下見守り隊)」の設立総会を開催しました=写真。隊員は各町から約四十名の方々から賛同と参加をいただきましたことを心から感謝申し上げます。これまでであった福小見守りSSV(スクールサポートボランティア)の活動者が中心になって組織化を図り責任体制を確立するとともに隊員相互の意思の疎通を図って楽しく見守り活動が出来るようにしたいと思っています。また学区の社教委員会や福祉委員会等の諸団体との連携に努めてまいります。

どうか見守り隊の活動にご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

見守り隊代表 織田義隆
(学区福祉委員会事務局長)

見守り隊設立総会の写真



補足説明

<組織化するに至る経緯>

登下校見守り活動者は、これまで各個人が自発的な意思で安全活動をいただいています。一方、組織ではないために責任体制が不明確で、そのため見守り活動中に被ったケガ等が発生した場合に市への補償手続き等の対応が大きな課題になります。

登下校見守り活動者を中心とした隊を立ち上げて責任体制を明確になるようにしたいと思います。また、総会や集いを開催して見守り活動等の問題点や改善点を打ち合わせていきたいと考えています。

岡崎、羽根学区等では組織化が進められていて、ボランティア隊を市の自主防犯団体に登録しています。

この『福岡学区福祉委員会だより』は、学区住民のみなさまにご協力いただいた赤い羽根共同募金の一部を財源に発行しております。

今後ともよろしくお願い致します。